

**コメント**

**1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

定点当り13.17人と急増しており 例年同時期と比べてかなり多くなっています。佐伯区12.0人、安芸区5.5人と特に多く 南区3.0人、安佐南区2.0人となっています。

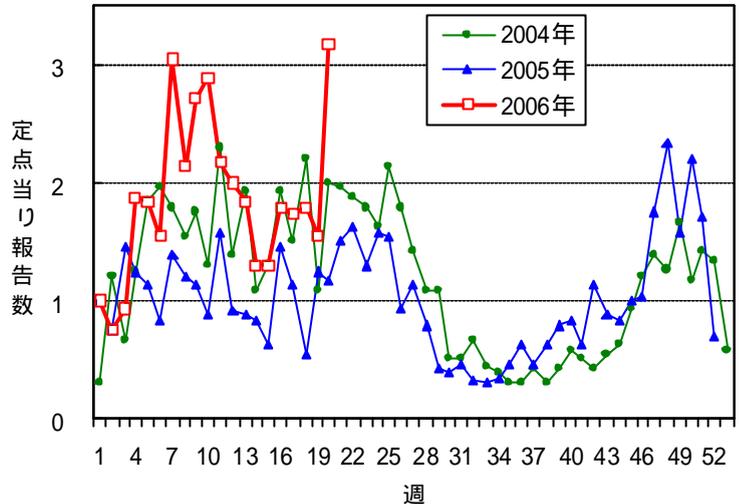
**2. インフルエンザ**

定点当り1.81人と急増しており 例年同時期と比べて多くなっています。4月下旬から増減を繰り返しており 少数ながら報告が続いています。

**3. 感染性胃腸炎**

定点当り7.71人とやや増加しており 例年同時期と比べて多くなっています。佐伯区11.7人、安佐北区、安芸区ともに11.0人となっています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



**5類感染症報告状況 (定点把握対象分)**

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	67	1.81	0.75	↑	麻疹(注3)	1	0.04	0.08	
咽頭結膜熱	8	0.33	0.23		流行性耳下腺炎	26	1.08	1.46	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	3.17	1.37	↑	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	185	7.71	5.24	↔	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	71	2.96	2.31	↔	流行性角結膜炎	16	2.00	1.05	
手足口病	-	-	1.09		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	4	0.17	0.48		無菌性髄膜炎	3	0.43	0.17	
突発性発しん	15	0.63	0.75		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.20	
百日咳	-	-	0.01		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	0.13	0.20						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2.0の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)  
 (注2)高病原性鳥インフルエンザを除く  
 (注3)成人麻疹を除く  
 (注4)オウム病を除く

**1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)**

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	急性脳炎	1	5	女性(50歳代)
5	梅毒	1	4	男性(40歳代)

## 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	定点当り	全国	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
報告数	広島市	第16週	23	3	43	225	49	1	8	19	-	-	-	-	28	1	-	6	-	-	3	-	-	-
		第17週	48	6	40	219	51	-	5	11	-	-	1	-	23	-	-	6	-	1	1	-	-	-
		第18週	44	6	43	142	42	1	10	10	-	-	1	-	18	-	-	6	-	-	1	-	-	-
		第19週	21	9	37	159	78	-	7	14	-	-	-	-	19	1	-	10	-	-	4	-	-	-
		第20週	67	8	76	185	71	-	4	15	-	-	-	3	1	26	-	-	16	-	3	3	-	-
定点当り	広島市	第16週	0.62	0.13	1.79	9.38	2.04	0.04	0.33	0.79	-	-	-	-	1.17	0.04	-	0.75	-	-	0.43	-	-	-
		第17週	1.37	0.26	1.74	9.52	2.22	-	0.22	0.48	-	-	0.04	-	1.00	-	-	0.75	-	0.14	0.14	-	-	-
		第18週	1.19	0.25	1.79	5.92	1.75	0.04	0.42	0.42	-	-	0.04	-	0.75	-	-	0.75	-	-	0.14	-	-	-
		第19週	0.57	0.38	1.54	6.63	3.25	-	0.29	0.58	-	-	-	-	0.79	0.04	-	1.25	-	-	0.57	-	-	-
		第20週	1.81	0.33	3.17	7.71	2.96	-	0.17	0.63	-	-	0.13	0.04	1.08	-	-	2.00	-	0.43	0.43	-	-	-
全国	第18週	0.94	0.45	1.76	4.91	1.98	0.16	0.38	0.47	0.01	-	0.18	0.01	1.28	-	0.03	0.81	0.01	0.01	0.23	-	-	-	
	第19週	0.61	0.65	2.04	5.83	3.15	0.24	0.40	0.65	0.01	-	0.29	-	1.56	-	0.06	1.31	0.01	0.03	0.40	-	-	-	

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

## 5類感染症報告状況の推移 (STD (性感染症) 基幹定点月単位報告分)

報告数	広島市	3月	STD 性感染症 定点												基幹定点								
			性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
定点当り	広島市	3月	25	15	10	7	7	0	2	1	1	9	9	0	60	40	20	23	13	10	2	2	0
		4月	17	6	11	7	3	4	6	3	3	6	6	0	48	27	21	13	7	6	0	0	0
		3月	2.78	1.67	1.11	0.78	0.78	0.00	0.22	0.11	0.11	1.00	1.00	0.00	8.57	5.71	2.86	3.29	1.86	1.43	0.29	0.29	0.00
		4月	1.89	0.67	1.22	0.78	0.33	0.44	0.67	0.33	0.33	0.67	0.67	0.00	6.86	3.86	3.00	1.86	1.00	0.86	0.00	0.00	0.00
全国	4月	2.74	1.18	1.56	0.90	0.38	0.52	0.52	0.30	0.23	1.06	0.89	0.17	4.08	2.54	1.54	1.03	0.62	0.41	0.09	0.06	0.03	

定点数 STD定点9 基幹定点7

## 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	3	女	2006/05/01	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
咽頭結膜熱	4	女	2006/04/06	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	男	2006/04/09	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
無菌性髄膜炎	3	男	2006/04/06	髄液	エコーウイルス18型
インフルエンザ疑い	9	男	2006/04/05	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

## 関東地方の一部で麻しん (はしか) の集団発生が確認されています。

4月から5月にかけて、茨城県、千葉県を中心として麻しんの集団感染が確認されています。今年の広島市では、第20週に1人(1歳)の報告がありました。

麻しんの感染力は非常に強く、麻しんの免疫を持たない集団で麻しんが発生すると、急速に感染が拡大するため注意が必要です。予防のためには予防接種が有効ですので、定期予防接種の対象年齢であるお子さんは、できるだけ早く予防接種を受けるようにして下さい。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [eiken@city.hiroshima.jp](mailto:eiken@city.hiroshima.jp)

2006年第20週 (5月15日～5月21日)